

前回の主な論点

平成19年2月21日（水）社会資本整備審議会第6回環境部会

1. 運輸部門（交通流対策）について
 - ・ エネルギーマネジメント全体の中で、国土交通省が果たしている役割をわかりやすく示していった方がよい。
 - ・ ETC割引に関し、環境にやさしい車に対する割引やいったん高速を降りた後の再入場の割引なども検討するとよい。
 - ・ 道路工事の縮減については、路線全体のマネジメントによる渋滞緩和も検討するとよい。
 - ・ 費用対効果を把握するために、対策にどれぐらい予算を要するのかを示した方がよい。
 - ・ ロードプライシングや乗り入れ制限など、交通量を減らす施策も検討できないか。
 - ・ 都市部での自転車利用の促進策について説明して頂きたい。
 - ・ 道路整備に併せて緑化も進めていくことを検討して欲しい。
2. 産業部門（建設施工分野）について
 - ・ 国内産の森林資源の活用についても進めて欲しい
 - ・ 超大型のダンプカーの排出削減方策についても検討して欲しい
3. 一酸化二窒素対策（下水道）について
 - ・ 生ゴミなどのバイオマス資源の活用も検討して欲しい
 - ・ 汚泥の高温処理以外にも、エネルギーとしての活用など新しい技術開発について検討して欲しい
4. 温室効果ガス吸収源対策（都市緑化）
 - ・ 樹木の本数だけでなく、二酸化炭素を十分に吸収できる樹木の拡大という観点から進めて欲しい
 - ・ 地域の特性も踏まえて樹種を選定して欲しい

全体的意見

- ・ ハード整備に併せてソフト対策も活用するとともに、国民・地域・企業に示してもらふべきことも併せて説明していった方がよい。
- ・ 地球温暖化対策について、国土交通省全体として取り組んでいるというインパクトのある見せ方をして欲しい
- ・ 国内での排出権取引について説明して欲しい
- ・ 排出権取引を活用し、社会資本分野で排出を削減した分の売却により、さらに社会資本整備を進めることも考えてよいのではないか
- ・ 各施策について、CO₂排出量全体の中での位置づけと併せて説明をしてもらう方が分かりやすい。